

国際サンゴ礁年について



知ろう、行こう、守ろう 国際サンゴ礁年2008 オープニングイベント

- 日 時 2007年12月9日(日) 14:00～17:40
- 場 所 立教大学 池袋キャンパス 太刀川記念館
- 主 催 環境省
- 共 催 立教大学 ESD研究センター



いよいよ国際サンゴ礁年2008が始まります。

これから

**日本をはじめ、世界各地で、サンゴ礁を守る行動が
多くの方々の手により実行されます。**

このうねりがさらに大きく広がってゆき

地球規模の活動となるよう

皆さん、協力して頑張りましょう。

知ろう、行こう、守ろう
国際サンゴ礁年2008
オープニングイベント

TIME	プログラム	内容
13:30	開場	受付
14:00	開演 記者発表	①挨拶/国際サンゴ礁年2008開始宣言 (桜井郁三副大臣) ②国際サンゴ礁年2008応援メッセージのご紹介 ③国際サンゴ礁年2008概要発表
14:30	対談	テーマ：国際サンゴ礁年2008が始まるよ！ ゲスト：田中律子 (女優/アクアプラネット 会長) 安永正 (サンシャイン国際水族館 館長)
15:10	休憩	休憩
15:20	パネル ディスカッション	テーマ：～知ろう・行こう・守ろう～ 盛り上げよう！国際サンゴ礁年2008！！ パネリスト： 宮良道子 (沖縄県 文化環境部 自然保護課) 山野博哉 (国立環境研究所 地球環境研究センター) 宮本育昌 (富士ゼロックス CSR部 社会貢献推進室) 山中康司 (日本安全潜水教育協会 会長) 阿部治 (立教大学 教授 ESD研究センター長) 中島慶次 (環境省 自然環境局 自然環境計画課) コーディネーター/青木将幸(ファシリテーター)
16:20	懇親会 セッティング	一度、会場から退出願います。
16:45	懇親会	
17:40	終了	

国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)とは？

- 日米豪仏等（8ヶ国）により1994年に開始されたサンゴ礁保全を目的とした国際協力の枠組。現在、44カ国及び40国際機関が参加。
- 平成18年10月にメキシコで開催されたICRI総会で、平成20年(2008年)を国際サンゴ礁年とすることを決定。

国際サンゴ礁年(IYOR)2008とは？

全世界で様々な行事や活動を行うことを通じてサンゴ礁保全とその持続的な利用を広く一般に広報・啓発することを目的とした取り組みです。

どの目的は・・・

- サンゴ礁と関連生態系の高い生態的、経済的、文化的な価値についての理解を広める。
- サンゴ礁が重大な危機に直面しているという理解を広める。
- すべてのレベル（官、民、NGO、地域住民等）で、保全と持続可能な利用のための行動を起こす。

日本における国際サンゴ礁年2008

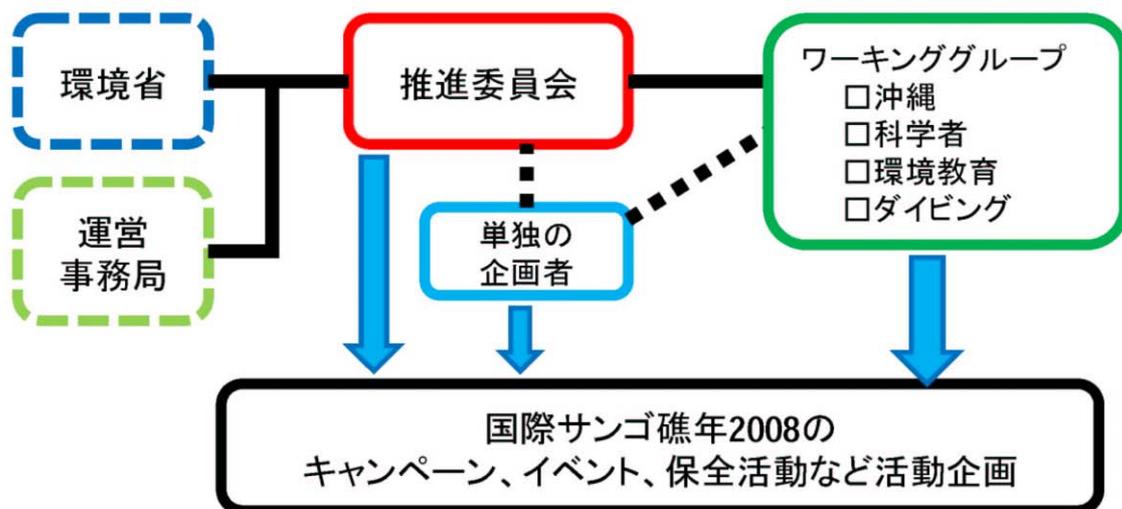
現在、日本国内においては、「国際サンゴ礁年2008」の趣旨に賛同した企業、マスコミ、ダイビング指導団体、水族館、自然保護NGO・NPO、自治体、研究者、個人等が集まって推進委員会やワーキンググループを形成し、それぞれ主体的に関わる参加型会議を重ね、国際サンゴ礁年である2008年に行う活動について、さまざまな企画を話し合い、その準備を進めています。

目標:

サンゴ礁に関心を持つ人、
サンゴ礁のことを知る人、
サンゴ礁を体験する人、
サンゴ礁のために行動する人、
……を**飛躍的に増やす！！**

キャッチフレーズ:「知ろう、行こう、守ろう」

日本における推進体制



推進委員会・ワーキンググループの活動

現在、日本国内においては、「国際サンゴ礁年2008」の趣旨に賛同した、企業・マスコミ・ダイビング指導団体・水族館・NGO・NPO・自治体・研究者・個人等が集まって発足した国際サンゴ礁年2008推進委員会において、「国際サンゴ礁年2008」の活動の推進に向けた話し合いを行っています。

推進委員会の下にテーマ毎に4つのワーキンググループを設置し、それぞれが主体的に関わる参加型会議を重ね、「国際サンゴ礁年2008」における活動について、さまざまな企画を話し合い、その準備を進めています。

□推進委員会

国際サンゴ礁年 2008推進委員会は、日本国内における、「国際サンゴ礁年2008」の活動に関する基本ルールづくりや、活動計画づくり、各ワーキンググループ及び実施者間の調整、情報共有、連携促進等のコーディネートの役割を担っており、現在、月1回のペースで会議を重ねています。

□沖縄ワーキンググループ

沖縄ワーキンググループは、国内最大のサンゴ礁海域のある、地元(沖縄)関係者を中心とした有志が集まり、「国際サンゴ礁年2008」に沖縄でできる活動や、沖縄から発信できる活動などについて検討しています。

□科学者ワーキンググループ

日本サンゴ礁学会員を中心として有志が集い、国際サンゴ礁年を科学面でサポートします。また、科学者の調査研究の成果を発信していきます。

□環境教育ワーキンググループ

環境教育に関心がある有志が集まり、「国際サンゴ礁年2008」において「海の環境教育」のプログラムの策定や活動について、準備・検討しています。

□ダイビングワーキンググループ

ダイビングワーキンググループは、現在行われているサンゴ礁保全活動の情報収集と、ダイバーによる活動支援のための提案作りや、「国際サンゴ礁年2008」にダイビング業界全体でできる事の検討を行っています。

国際サンゴ礁年2008の活動登録

「国際サンゴ礁年2008」の取り組みとして2008年に実施する、イベント、セミナー、シンポジウム、保全活動、(ダイビング)ツアー、学習などの活動企画の登録を現在、国際サンゴ礁年HP(<http://www.iyor.jp/>)で受け付けています。

12月10日(月)からは、登録された活動企画が、下記のように実施月ごとの「活動リスト」として一覧表示されます。



The screenshot shows the '活動リスト' (Activity List) page for January 2008. The page features a navigation menu on the left, a main content area with a list of activities, and a footer with a disclaimer.

活動リスト

「国際サンゴ礁年2008」の取り組みとして2008年に実施されるイベントやキャンペーンや保全活動などのさまざまな活動をご紹介します。

新規登録

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

No.001 **知ろう / 行こう / 守ろう**

サンゴ礁を観察しよう! **詳細**

活動種別: 保全活動、学習
 開催日時: 2008年1月1日 ~ 2008年12月31日
 開催場所: 沖縄県
 主催者: ○○○○○○ **写真**

No.002 **知ろう / 行こう / 守ろう**

サンゴ礁を観察しよう! **詳細**

活動種別: 保全活動、学習
 開催日時: 2008年1月1日 ~ 2008年12月31日
 開催場所: 沖縄県
 主催者: ○○○○○○ **写真**

No.002 **知ろう / 行こう / 守ろう**

サンゴ礁を観察しよう! **詳細**

活動種別: 保全活動、学習
 開催日時: 2008年1月1日 ~ 2008年12月31日
 開催場所: 沖縄県
 主催者: ○○○○○○ **写真**

No.003 **知ろう / 行こう / 守ろう**

サンゴ礁を観察しよう! **詳細**

活動種別: 保全活動、学習
 開催日時: 2008年1月1日 ~ 2008年12月31日
 開催場所: 沖縄県
 主催者: ○○○○○○ **写真**

次の20件へ

※環境省、国際サンゴ礁年2008推進委員会、国際サンゴ礁年2008推進委員会事務局は、登録された活動の内容や、質、安全性等を保証するものではありません。

<http://www.iyor.jp>

現在、国際サンゴ礁年2008の活動登録が続々となされています。
ここでは、11月30日までに登録された(=開催が決定している)
国際サンゴ礁年2008の活動の概要を紹介します。

※詳細につきましては、

国際サンゴ礁年2008ホームページ(<http://www.iyor.jp/>)をご覧ください。
12月10日より登録された活動の紹介が始まります。

「ワーキンググループ」による取り組み

第1回 東京サンゴカフェ「サンゴ礁について聴こう、語ろう」

- 2007年12月20日
 - EPO会議室(東京都・表参道)
 - 実施者:国際サンゴ礁年2008推進委員会 環境教育ワーキンググループ
- 東京サンゴカフェは、環境教育ワーキンググループが主催する、サンゴ礁に関するトピックについて話題提供や懇親をはかる場です。

「企業」による取り組み

SUMISEI CoralReef Project

- 2008年1月～2011年3月
 - 沖縄県石垣島・フィジー諸島共和国
 - 実施者:住友生命保険相互会社
- サンゴ礁を中心とした自然環境と地域生活の両立を図る持続可能な地域づくりに取り組むNGO活動支援。

チーム美らサンゴ サンゴ植え付けプログラム

- 2004年から始まった活動。2008年は5年目。
 - 沖縄県恩納村
 - 実施者:チーム美らサンゴ(ANA、沖縄電力など13社の協働)
- 「沖縄のサンゴを復活させよう!」の趣旨のもと、沖縄県内外の13企業が協賛・協働しているサンゴ保全活動。

SAVE THE CORAL 2008

- 2008年3月～2008年12月
 - 東京、沖縄のライブハウスなど
 - 実施者:株式会社カフシス・株式会社リムショット
- 「国際サンゴ礁年2008」をきっかけとして、日本と地球の環境を考える音楽イベントの開催。

gooホーム PROJECT

- 2007年11月28日～2008年3月31日
 - 全国(サンゴの植え付けは沖縄県北谷町)
 - 実施者:NTTレゾナント ポータルサイトgoo
- ヒトとヒトとがつながって世の中が良くなるというSNSの新しいコンセプト。
gooホームに参加して、仲間が集まると沖縄の海にサンゴが植えられるプロジェクト。

三菱商事 サンゴ礁保全プロジェクト

- 2005年度～2010年度
 - 沖縄 / ミッドウェイ環礁 / セーシェル共和国
 - 実施者:三菱商事 社会・環境室
- 世界のサンゴ礁保全を目指し、2005年度にスタートした「サンゴ礁保全プロジェクト」。
三菱商事と大学や環境NGOなど「産・学・民」が連携し、一体となって推進する。

「ダイビング・エコツアー」業界による取り組み

宮古島エコバカンス・・・天然水族館に行こうキャンペーン

- 2008年1月1日～12月31日
 - 沖縄県 伊良部島 下地島 八重干瀬 吉野海岸
 - 実施者:エコガイドカフェ
- 観光客が来れば来るほど美しくなるエコバカンス。サンゴ礁を知り、守る活動を遊びの中で実践します。海でしか学べない多彩な体験学習が満載です。

さんご畑を創ろう。

- 通年
 - 沖縄県 南城市
 - 実施者:Growing Coral 沖縄
- 養殖したサンゴで、地先の海へサンゴ畑を創る活動です。
オニヒトデの食害を受けにくい工夫がなされています。

PADI スペシャルティ・オブ・ザ・イヤー

- 2008年1月1日～12月31日
 - 日本全国
 - 実施者:PADIジャパン ・ PADIプロメンバー
- 世界180カ国以上のエリアで、ダイバーやノンダイバーに対する、PADIの環境教育プログラム等、普及啓蒙商品のプロモーション展開の実施。

サンゴ礁のモニター（コーラルウォッチ）

- 通年
 - 日本全国のサンゴ礁域
 - 実施者:PADI・PADIプロメンバー
- ダイバーやスノーケラーに、サンゴの白化現象のモニタリングと健康状態の評価をしてもらうプログラムであるコーラルウォッチを広く展開します。

イキイキ☆サンゴ大作戦

- 2008年10月24日～26日(予定)
 - 沖縄県 渡嘉敷村
 - 実施者:美ら海振興会
- 一般レジャーダイバーらの参加による、渡嘉敷村神山島海域でのサンゴの植え付けの実施。サンゴ礁保全セミナーや懇親会なども開催する。

「NGO・NPO」による取り組み

第3回 コーラル&マングローブアクション

- 2008年3月21日～24日
 - 沖縄県石垣島
 - 実施者:NPO法人 国際コーラル&マングローブアクション
- サンゴ礁のシュノーケリングや、マングローブ林のトレッキングなどを通してサンゴ礁や、生物の多様性や共生関係について学ぶ、石垣島の自然体験。

OWS海のトークセッション「地球温暖化とサンゴ礁の島々」

- 2008年3月
 - Nature Info Plaza 丸の内さえざり館(東京都・有楽町)
 - 実施者:NPO法人 OWS
- 海の環境NPO「OWS」が開催する、海と自然をテーマにしたトークセッション。2008年はサンゴ礁をテーマに4回連続で開催。その1回目。

サンゴの日イベント「サンゴって何」～サンゴを見に行こう～

- 2008年3月9日
 - 沖縄県 浦添市及び宜野湾市
 - 実施者:NPO法人 コーラル沖縄
- 毎年3月5日の「サンゴの日」にあわせて、沖縄県在住の児童を対象に開催しているサンゴ礁観察会です。

世界おんだんか紀行 沖縄サンゴ編 水の世界へようこそ

- 2008年3月8日
 - ストップおんだん館（東京都・神谷町）
 - 実施者：全国地球温暖化防止推進センター ストップおんだん館
- 「世界おんだんか紀行」は、世界各地の気候風土、そこに住む人々の暮らしをゲストから映像やスライドを交えてうかがい、地球温暖化の影響などを探ります。

海の日イベント ～サンゴの植え付けを学ぼう～

- 2008年7月21日
 - 沖縄県 浦添市
 - 実施者：NPO法人 コーラル沖縄
- 沖縄県在住の児童を対象にした「サンゴの植え付け」の啓発事業です。
当日、基盤に植えつけられたサンゴは、10月末に実際に海中に植えつけられる予定。

ボランティア・フォーラム TOKYO 2008

- 2008年2月10日
 - 飯田橋セントラルプラザ会議室（東京都・飯田橋）
 - 実施者：東京ボランティア・市民活動センター
- 標記のフォーラムの中で、「サンゴ礁からのメッセージ ～温暖化による危機と私たちにできること～」をテーマに分科会が開催されます。

リーフチェックの取り組み

- ☆「リーフチェック」とは、地球規模でサンゴ礁の健康状態を把握する調査活動です。
80カ国以上の国で世界統一基準で行われること、一般のダイバーも調査に参加できることが特色。前回1997年の国際サンゴ礁年に初めて地球規模での調査が行われました。

リーフチェック in 小浜北

- 2008年6月6日～7日（予備日）6月8日
 - 沖縄県 小浜島
 - 実施者：コーラル・ネットワーク ・ ダイブサイト・ノロ
- 調査予定地はサンゴの状態が非常によいポイント「小浜北」です。

リーフチェック in 田子

- 2008年9月27日・28日
 - 静岡県 西伊豆町
 - 実施者：コーラル・ネットワーク
- 静岡県の西伊豆、田子白崎で通算9回目となるリーフチェックを行います。

リーフチェック in 石垣島

- 2008年3月1日・2日(桜口) 2008年4月5日・6日(米原)
- 沖縄県 石垣島
- 実施者:コーラル・ネットワーク
- 石垣島の桜口で通算6回目、米原で初めてとなるリーフチェックを開催します。

リーフチェック in 穴喰

- 2008年5月24日・25日
- 徳島県 海陽町
- 実施者:NPO法人 あど未来・竹ヶ島海中公園自然再生協議会
- エダミドリイシが自然に再生する環境づくりを目標に実施します。

リーフチェック in 田辺

- 2008年5月25日 または 6月1日
- 和歌山県田辺市
- 実施者:コーラル・ネットワーク・なみよいくじら・スタードルフィンズ
- 田辺市は日本の沿岸部の中で、比較的サンゴの健全度の高い海です。

リーフチェック in 串本

- 2008年5月31日 または 6月7日
- 和歌山県串本町
- 実施者:コーラル・ネットワーク
- 串本は「本州最南端の海で、世界最北端のリーフチェック」が合言葉。

リーフチェック in 宮古島

- 2008年5月24日～25日(予備日)6月1日
- 沖縄県宮古島
- 実施者:コーラル・ネットワーク・ブルーフォレスト宮古島 他
- 宮古島の調査予定地は人気スポット「八重干瀬」です。

リーフチェック in 鹿川

- 2008年11月21日～22日(予備日)11月23日
- 沖縄県 西表島 鹿川湾
- 実施者:コーラル・ネットワーク・ダイブサイト・ノロ
- 調査予定地は八重山の人気スポット「鹿川湾 中の瀬」です。

リーフチェック in 渡嘉敷島

- 2008年11月22日
- 沖縄県 渡嘉敷村
- 実施者:有限会社シーフレンド
- 渡嘉敷島の西海岸でリーフチェックを開催します。

「市民の協働」による取り組み

海辺の環境教育フォーラム2008 in いえしま(播磨灘)

- 2008年2月29日～3月2日
 - 兵庫県 姫路市
 - 実施者:海辺の環境教育フォーラム2008inいえしま(播磨灘)実行委員会
- 「里海で地域と協働して海辺の環境教育を展開しよう」をテーマに開催される海辺における環境教育の実践者らが、一同に会するフォーラム。

「メディア紹介」や「情報発信」

『マリンダイビング』誌「国際サンゴ礁年2008」企画

- 2007年12月10日発売 『マリンダイビング』2008年1月号
 - 実施者:水中造形センター
- スクーバダイビングの専門誌、月刊『マリンダイビング』では、国際サンゴ礁年を盛り上げるために毎月特集を組む予定。第1弾はサンゴ礁について知っておくべきことなどをカラー4ページにわたって解説します。

MBCラジオ「守ろう地球環境キャンペーン」PRスポット

- 2007年12月1日～2008年1月31日 の毎日1回
 - 鹿児島県内 全域 (MBCラジオの放送を通して)
 - 実施者:南日本放送 編成本部 ラジオ制作部
- 守ろう地球環境キャンペーンの一環として、国際サンゴ礁2008を広く知ってもらうための60秒キャンペーンスポット(CM)の制作、放送。

■■オープニングイベント出演者プロフィール■■ (敬称略・順不同)

【対談】

田中 律子 (たなか・りつこ)

女優 / 特定非営利活動法人アクアプラネット 会長

1984年にモデルとしてデビュー後、さまざまなドラマ・バラエティ・映画・CM に出演。1997年に結婚。一児の母でもある。スクーバダイビングインストラクターの資格を持っており、サンゴ礁の保全・再生を目的としたNPO「アクアプラネット」の会長も務める。

安永 正 (やすなが・ただし)

サンシャイン国際水族館 館長

1957年6月生。中学、高校時代を熊本県天草で過ごす。干潟をフィールドとし、泥まみれになって生き物と戯れる。東京水産大学(現 東京海洋大学)修士卒業後、現在の職場であるサンシャイン国際水族館に勤務。昨年4月にオープンした『サンシャインサンゴ礁水槽』で育ったサンゴを、沖縄の海に戻すべく奮闘中。ダイビング、水中写真を趣味とし、石垣島の海の魅力に取り付かれている。

【パネルディスカッション】

宮良 道子 (みやら・みちこ) 【パネリスト】

沖縄県文化環境部自然保護課自然保護班 主査

埼玉県出身。筑波大学第一学群人文学類を卒業後、1995年から沖縄県職員として従事。土木建築部、環境保健部、企画開発部を経て、現在、文化環境部自然保護課でサンゴ礁保全を担当。沖縄県では2006年度までオニヒトデ対策を中心としたサンゴ礁保全対策事業を実施し、2007年度からは官民協働のサンゴ礁保全・再生体制の構築に向けて取り組んでいる。自然が好きで、小さい頃から山々をハイキングするのが楽しみ。沖縄に来てからは両親の故郷の芸能である八重山民俗舞踊に熱中。

山野 博哉 (やまの・ひろや) 【パネリスト】

独立行政法人国立環境研究所地球環境研究センター主任研究員

1970年生まれ。東京大学大学院理学系研究科地理学専攻卒業、博士(理学)。1999年より国立環境研究所に勤務。サンゴ礁地形の形成過程の解明と、リモートセンシングを用いたサンゴ礁マッピングとモニタリングに基づいて、地球温暖化に対するサンゴ礁の応答に関する研究を行っている。日本サンゴ礁学会評議員、学会誌編集委員長、広報委員、サンゴ礁保全委員会委員。国際サンゴ礁年における科学者ワーキンググループの運営を担当している。

宮本 育昌（みやもと・やすあき）【パネリスト】

富士ゼロックス株式会社 CSR部 社会貢献推進室

1991年入社。半導体関係の研究開発に従事した後、2007年4月から現職において、主に社員のボランティア活動の推進を行う。また、社内ボランティア組織「端数倶楽部」の自然環境保護部会で運営委員を10年以上、部会リーダーを数年務めた後、2007年7月から事務局長を担う。さらに、NPOコーラル・ネットワークの事務局長を務め、世界中で行われている市民と研究者によるサンゴ礁の健康診断「リーフチェック」を、日本のコーディネーターとして推進している。

山中 康司（やまなか・やすし）【パネリスト】

株式会社 トーイダイビング企画 代表取締役

特定非営利活動法人 日本安全潜水教育協会 会長

福岡県北九州市出身。大学時代にダイビングを始め、在学中にインストラクターの資格を取得。西伊豆安良里で漁協と共同で安良里ダイビングセンターを運営している。ダイビングマニュアル書の編集や雑誌コラムも担当。また、水辺の安全と環境保全を目的としたNPO法人・日本安全潜水教育協会の会長も務め、インストラクターのネットワーク充実を目指す。

阿部 治（あべ・おさむ）【パネリスト】

立教大学 教授（社会学部・大学院異文化コミュニケーション研究科）

立教大学 ESD研究センター長

行政やNGO、企業、学校などあらゆるセクターが連携しながら、持続可能な社会をめざす総合的な環境教育である「持続可能な開発のための教育」（ESD）の研究と推進に取り組んでいる。筑波大学大学院修了後、筑波大学、埼玉大学などを経て、2002年より現職。現在、日本学術会議特任連携会員、持続可能な開発のための教育の10年推進会議代表理事、日本環境教育フォーラム理事、日本環境教育学会常任運営委員など。

中島 慶次（なかしま・けいじ）【パネリスト】

環境省 自然環境局 自然環境計画課 調整専門官

東京農工大学で植生管理学を学んだ後、環境省に入省。東北北海道地区国立公園・野生生物事務所、インドネシアでのJICA専門家、奥多摩自然保護官事務所などを経て、秋からサンゴ礁の保全を担当。来年、夏の家族旅行はサンゴ礁のある海にしようかと思案中。

青木 将幸（あおき・まさゆき）【コーディネーター】

青木将幸ファシリテーター事務所

1976年生まれ。94年より、オゾン層、森林、地球温暖化などをテーマに環境NGO活動を開始。企画会社勤務を経て、2003年に独立し、青木将幸ファシリテーター事務所を設立。会議や研修の場面におけるファシリテーター（進行役・促進役）の育成と実践を行っている。

国際サンゴ礁年2008沖縄ワーキンググループにおける取組

【沖縄ワーキンググループでの活動】

国内最大のサンゴ礁海域のある地元（沖縄）関係者を中心として有志が集まり、国際サンゴ礁年に沖縄でできる活動や沖縄から発信できる活動などについて検討している。

【沖縄ワーキンググループの参加者】

80名弱（現時点）

【これまでの活動】

平成19年 8月 6日 国際サンゴ礁年2008沖縄説明会開催

平成19年 8月 29日 沖縄ワーキンググループ準備会合開催

平成19年 9月 18日 第1回沖縄ワーキンググループ開催

*今後、2～3ヶ月に1回程度開催していく予定

【沖縄ワーキンググループの国際サンゴ礁年2008における活動目標】

地域の人々あるいは沖縄を訪れる人々にサンゴ（サンゴ礁）についての基本的な知識や現状、また皆が守るべきルールなどについて知ってもらう

【国際サンゴ礁年2008における取組状況について】

- 活動については、企画段階のものがいくつか挙げられているが、実施の有無についてはこれから決定することとしている。
- 2009年以降の取組の方向についても検討していくことにしていく。

《活動企画案》

- 沖縄本島まるごとサンゴ礁めぐり（仮称）
国際サンゴ礁年1年間かけて毎月1回大潮の日にサンゴ礁観察会を実施
- キャラバン写真展
県内各地で国内外のサンゴ礁の写真展や人々の生活に関わりの深い海の写真展など開催し、地域の人々にサンゴ礁の海の素晴らしさや身近な存在であることを知ってもらう。
- 海辺にまつわる思い出写真展
沖縄に住む人々にとって、海は生活の一部であり、なくてはならないものであるということ、さりげなく知り、再確認してもらうことを趣旨として、一般の人々に募集する。思い出の海の写真には、そのエピソードを添えてもらう。
- 沖縄県内で実施される様々な環境教育、普及啓発活動、保全活動等について、沖縄ワーキンググループとしても、可能な限りサポートしていく。
- 県で実施する事業においても、国際サンゴ礁年の趣旨に合致するものについては、タイアップしていきたいと考えている。

沖縄ワーキンググループ 進め方



沖縄ワーキンググループ 目標

■ 2008年の目標(短期)

地域の人々あるいは沖縄を訪れる人々にサンゴ（サンゴ礁）についての基本的な知識や現状、また皆が守るべきルールなどについて知ってもらう

■ 長期目標

2008年の間に長期目標（例：将来のサンゴ礁像）を設定し、2008年を契機により多くの人々が長期目標に対し共通認識を持ち、連携しながら目標達成に向けて継続的に活動を行っていく。

【参考】

《国際サンゴ礁年2008の目的》

サンゴ礁に関心を持つ人、サンゴ礁のことを知る人、サンゴ礁を体験する人、サンゴ礁のために行動する人を飛躍的に増やす

- *できるだけ多くの人にサンゴ礁について関心を持ってもらうことが第一目標。
さらに、関心を持った人がサンゴ礁の価値と現状を知り、また、水中でまたは水族館などでサンゴ礁を体験し、そして、サンゴ礁保全の行動を行えるよう、連携を進めたい。
- *「行こう」には、現場に行くことだけでなく、水族館やセミナーに行くことも含まれる。
なお、大勢の人が現場を訪れて、サンゴ礁に悪影響が出ないように、適切な利用を行う必要がある。

沖縄ワーキンググループ 部会設置

■ 普及啓発 部会

- 目標達成に向けて、サンゴ礁に関する基本的な情報(知識・現状・保全対策等)を普及啓発していくための企画提案を行うとともに、活動を実施する。

■ 対象別サンゴ礁啓発部門(準備会合提案)

大人向け、子ども向け、観光客向けなど対象別にサンゴ礁啓発活動の企画提案

■ 行脚隊部門(準備会合提案)

行政向け、観光業向け、漁業向けなど団体対象別にサンゴ礁啓発活動の企画提案

■ 公開学習部門(説明会提案)

ワークショップ、シンポジウム、小学校公開講座などを通じたサンゴ礁啓発活動の企画提案

■ 保全・再生活動 部会

- 現在、様々な団体などが行っているサンゴ礁保全・再生活動を中心に、それらの活動をより効果的に行っていくための企画提案を行うとともに、活動を実施する。

■ 保全・再生活動PR部門(説明会提案)

これまで行ってきた活動等についてのPRや参加促進のための企画提案

■ 基金等創設部門(準備会合提案)

保全・再生活動への企業との連携や募金などの有効活用を図るための企画提案

■ 看板設置部門(準備会合提案)

サンゴの価値や観光・潮干狩りなどによるサンゴの損傷などの防止に関する普及啓発用の看板設置に向けた企画提案

■ 目標設定 部会 (準備会合提案) *2008年以降に活動を検討

- 国際サンゴ礁年2008の間に、長期的目標を設定するための企画提案を行うとともに、活動を実施する。
 - ・各地域のサンゴ礁が健全だった頃の写真などを整理し、その頃への再生を目指すことを共通目標とするための具体的な作業の企画提案
 - ・具体的な数値目標(サンゴ被度など)を検討するための企画提案

◆ 上記以外にも必要に応じ部会を設置

◆ 部会中の部門については、提案されたものを参考までに記載しているので、部会等の話し合いにより追加・変更してもよいこととする。

「国際サンゴ礁年2008」の日本における
イメージキャラクターのご紹介



国際サンゴ礁年2008
イメージキャラクター名称
および
イメージキャラクターの**友だち**募集

主催：国際サンゴ礁年2008推進委員会・環境省
協力：株式会社水中造形センター・月刊『マリンダイビング』、
全日本空輸株式会社、ワールドダイブ株式会社、
mic21、WWFジャパン



募集期間は2008年1月31日まで。
素敵な名前と友だち待ってるよ！

2008年は国際サンゴ礁年です。
このたび国際サンゴ礁年のイメージキャラクターが決定しました！！
この「イメージキャラクターの名称」と
「イメージキャラクターの友だちキャラクター」を大募集いたします。

国際サンゴ礁年2008 イメージキャラクター名称 および イメージキャラクターの友だち募集

主催：国際サンゴ礁年2008推進委員会・環境省
協力：株式会社水中造形センター・月刊『マリンドIVING』、
全日本空輸株式会社、ワールドダイブ株式会社、
mic21、WWFジャパン

募集要項

サンゴ礁の海には、いろいろな種類のサンゴや貝、魚、ウミガメ、海草などたくさんの生きものが暮らしています。サンゴのすき間をのぞくと色とりどりの小さな魚が隠れていたり、岩の上にはイソギンチャクが揺れています。エビが大きな魚の掃除をしています。その上をマンタが悠々と泳ぎ、チョウチョウウオの群れがせわしなく行き来しています。時には食べたり、食べられたり。どの生きものもお互いにつながって暮らしているのです。浅瀬に広がるマングローブや海草も、サンゴ礁に暮らす魚やカニたちが子供の頃を過ごす「海のゆりかご」です。2008年は、国際サンゴ礁年です。サンゴ礁の海をよく知ってもらい、守っていくために、いろいろな活動が行われます。そこでサンゴをイメージしたキャラクターを作りました。このキャラクターのために、みんなに愛されるような素敵な名前と楽しい友だちを大募集します。

1. 募集内容

- ①イメージキャラクターの名前
- ②サブキャラクター（イメージキャラクターの友だち）

2. 応募資格

どなたでもご応募いただけます。

3. 応募期間

2007年12月10日（月）～2008年1月31日（木）当日消印有効

4. 「イメージキャラクターの名前」募集規定

ハガキにイメージキャラクターの名前と、応募される方の住所、氏名、年齢、電話番号、職業を明記のうえ下記応募先に郵便にてお送りください。

※1枚のハガキで、1点の応募とします。

※お一人様につき5点まで応募が可能です。

※友達キャラクターと併せて応募する場合は、友達キャラクターの用紙の裏に名前を記載して、応募できます。ただし、1枚につき、1点の応募とします。この場合、イメージキャラクターの名前と友達キャラクターの作品は、個々に審査します。

5. 「サブキャラクター（イメージキャラクターの友だち）」募集規定
条件：サンゴ礁の海とその周辺に暮らす生きものを素材にしてください。
用紙：自由
画材：自由（カラーでご応募ください）
友だちキャラクターを描いた用紙の裏に必ず、友だちキャラクターの名前と応募される方の、住所、氏名、年齢、電話番号、職業を明記のうえ、
下記応募先に郵送ください。
※1枚の用紙に、1点のキャラクターの応募とします。
※お一人様につき5点まで応募が可能です。
※デジタルデータによる応募はご遠慮ください。
6. 選定方法
国際サンゴ礁年2008推進委員会において、採用作品を選定します。
7. 賞の種類
イメージキャラクター命名賞 1点
友だちキャラクター賞 5点程度
※同一の名前及びキャラクターがあった場合は、抽選により入賞者を決定します。
※採用作品に対して、協力団体の提供による副賞を授与します。
8. 採用作品の発表
2008年3月末日までに国際サンゴ礁年2008ホームページ (<http://www.iyor.jp/>) に、掲載します。
9. 応募・問い合わせ先
〒105-0003東京都港区西新橋1-7-13 ナンサ虎ノ門ビル3F
国際サンゴ礁年2008推進委員会事務局
「国際サンゴ礁年2008キャラクター」係
電話：03-3502-3244
10. 採用作品の取扱い
 - ・応募作品は返却しません。
 - ・採用作品の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は、当選者から環境省に移転します。
11. 注意事項
 - ・募集する作品は、応募者が創作した未発表の作品とします。
 - ・作品の中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を利用していないものとします。
 - ・採用されなかった作品の著作権は環境省に移転しません。
 - ・応募者は応募事業の紹介や記録のために主催者が応募作品を利用することを認めることとします。
 - ・応募者は、国際サンゴ礁年2008の推進又は2009年以降のサンゴ礁の保全に係る普及活動及び広報活動を行うために環境省が必要と認める活動に応募作品が利用されることを認めることとします。
 - ・当選者は、採用作品の一部修正・翻案を環境省に認めることとします。